

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 4 年 9 月定例会	
議案番号 議案名	議案第18号 一般会計補正予算(第5回)
議員名・会派名等	公明党
賛否態度	賛成
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	<p>以下の賛成討論をもって、態度決定に至った理由と致します。</p> <p>会派を代表して賛成の立場から討論します。</p> <p>今回の補正予算は、既に今年度当初予算の中で、新拠点ゾーン南側用地取得費として可決されている事業について、その取得費の上限を約 27 億円から、38 億円に引き上げようとするものです。</p> <p>提案理由説明や特別委員会での質疑でも明らかになった通り、当初予算に計上された約 27 億円は、価格時点が令和 2 年 11 月というコロナ禍における不動産取引が不透明な状況の中で評価が行われ、また評価算定方式も、基準値評価から格差率を乗じて算出したものでした。</p> <p>ある意味、今年度の当初予算に計上するプロセス上、この算定方法の採用は致し方なかったものと考えます。</p> <p>そして、この度改めて、価格時点を令和 5 年 1 月 1 日、評価算定方式も直接評価及び開発法を採用して最有効使用から評価しなおしたところ、38 億円との金額が算出されました。</p> <p>従って、その補正理由は、妥当なものであると判断します。</p> <p>私ども公明党は、本市が進める新拠点ゾーンの開発こそが、松戸駅周辺の活気と賑わいを創出する再開発に向けて、その起爆剤になるものと確信しております。</p> <p>中でも、国有地の取得は、千載一遇のチャンスとして、決して欠くことのできない核心的事業であります。</p> <p>どうか、執行部にあっては、何としても新拠点ゾーンの国有地取得に向けて、最大限のご努力を頂きますよう、改めてお願いしたいと存じます。</p> <p>現在の市役所本庁舎は、老朽化が著しく、耐震性に課題があることは、松戸市議会 全議員が共有し、一刻も早く建替えなければならないことは、共通の認識であると理解しています。</p> <p>過日、執行部より、新拠点ゾーンへの移転建替え案と、現地建替え案2案の、候補地別比較表が示され、そして、今回、計画上限面積を</p>

41,000 m<sup>2</sup>とした場合の比較表も示されました。

そして、その結果、いずれの面積においても、A案の新拠点ゾーンへの移転建て替え案が、定性的・定量的、そして、事業収支等の視点においても高い評価であり、事業期間と事業費の何れにおいても、最も高い評価であることが明らかとなりました。

私どもは、その比較結果を大いに尊重したいと思います。

その上で、敢えて申し上げるなら、そもそも、現地建替え案の2案は、執務スペースや駐車場の仮移転先の確保に目途が立っておらず、現状、実現不可能な建替え案となっています。

これこそまさに絵に描いた餅であり、比較検討する対案として成り立っていません。

つまり現状では、実現可能な建替え案は、A案の新拠点ゾーンへの移転建替え案のみであることを強調しておきたいと思います。

どうか、執行部におかれましては、市役所庁舎の移転建替え候補地としている、この新拠点ゾーン南側用地について、今年度当初予算の通り、令和4年度内に取得できるよう、そして何よりも、国との信頼関係を決して失うことの無いよう、誠意をもって国にもご説明頂き、事務手続きをしっかりと進めて頂きますよう強く要請しておきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

以上、申し上げ、会派を代表して本補正予算案への賛成討論と致します。